

# WITH A WILL

2019春  
Vol.40  
春日部中央総合病院

## 病院理念

愛し愛される病院

## 基本方針

- 求められる医療の実践  
24時間、より早く安心安全な診療
- 地域連携推進  
地域に密着した医療の提供
- 医療人としての質の向上  
医療人の自覚と技術向上への教育

## 心血管疾患克服への取組み

心臓病／下肢救済センター 循環器科 松井 朗裕

心臓病や脳卒中をはじめとした循環器病は、悪性新生物（がんなど）と同様に死因に占める大きな原因の一つです。発症後に後遺症が残ったり、入退院を繰り返したりすることもしばしばあり、長らく問題となっていました。そんななか昨年末、循環器病予防の推進を目的とした法案が国会で可決・成立し、今後はこの分野において多くの施策が実行されます。

当センターでは、これらに関連する取り組みとして、①循環器病救急診療の充実、②慢性心不全患者に対する再入院予防対策、③循環器病発症予防につながる動脈硬化性リスクへの早期介入、④難治性下肢創傷疾患に対するチーム医療などに努めており、今回はそれらについて簡単に紹介させて頂きます。

①については、これまで24時間、365日のオンコール体制をとっておりましたが、これに加え、昨年5月より平日は全日心臓病センター医師当直を配置し、より質の高い循環器病救急受け入れ体制を構築しました。春日部地域において、心臓血管外科診療が可能な病院は当院のみであり、外科的診療も含んだ幅広い受け入れ体制を整えていることも当院の特徴の一つです。また、昨年9月から春日部市消防と連携し、救急車内での12誘導心電図を病院到着前に伝送してもらうシステムを導入しました（図1参照）。循環器病救急において、発症から治療開始までの時間は非常に重要であり、例えば急性心筋梗塞では、より早期に治療介入することが生命予後改善につながることも知られています。このシステムを導入することで、病院到着後すぐに医療介入が可能となりますので、状態が悪化する前の段階で治療を開始できるようにな

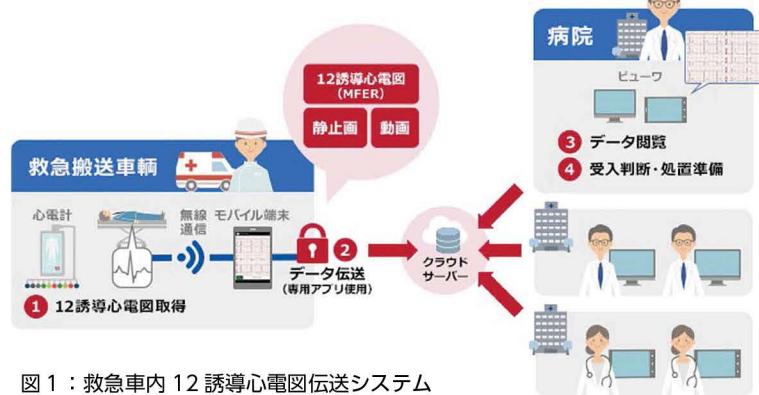


図1：救急車内 12 誘導心電図伝送システム

りました。万一の際には、是非ともお任せ下さい。続いて②についてです。慢性心不全をもつ患者様は再入院を繰り返すことで生命予後が悪くなることが広く知られており、再入院を避けることがとくに大切です。当院では最適なカテーテル治療や外科的手術、薬物療法に加え、継続的な外来心臓リハビリテーションや心不全認定看護師による定期的な指導介入を受けることができます(図2参照)。これまで年に複数回の入退院をされていた方々の多くが、これら介入を開始した後、長きにわたり再入院を避けることができており、充実した多職種の医療スタッフによるケアも当院の特色です。③については今年度、動脈硬化疾患に対する検診を開始しました。より早期にリスク因子への介入を図ることで、循環器病発症予防につなげていこうという取組みです。年齢や喫煙、糖尿病、高血圧、脂質異常症などのリスク因子は、気づかぬうちに血管を虫食いであります。血圧脈波検査や眼底検査などを用いて動脈硬化の程度は簡単に調べることができますので、リスクをお持ちの方々は、ご自身の現状を定期的に確認することで健康寿命を延ばしていきましょう。最後に④についてです。昨今、過度に進行した動脈硬化を背景に、難治性の下肢創傷・壊疽で困っている患者様が増加しております。当院ではこういった方々に対し、循環器科や形成外科医師のみならず、フットケアに精通した認定看護師やリハビリテーションスタッフ、管理栄養士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師など、チーム一丸となり総合的な治療を提供できる環境を整えております(図3参照)。このようなチーム医療が整った病院は多くはないため、県外から多くの患者様を受け入れ、診療しております。

最後に、今年度、心血管カテーテル治療に用いているシネアンジオ装置を最新機種に更新致します。これにより年間に当院で行っている約1600件近くのカテーテル検査・治療をより精度高く、確実に行うことができるようになります。今後も益々地域医療の充実に努力して参る所存ですので、何か困った際にはお気軽にご相談下さい。



図2：心臓リハビリテーション室



図3：多職種連携



平成31年1月より外科に赴任しました山本世怜と申します。これまで消化器外科を中心に診療を行い、手術に関しては積極的に腹腔鏡手術に取り組んでおります。お困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。春日部の医療に貢献できるよう頑張りますので宜しくお願ひ致します。



# 気になる 飛蚊症の疑問



視界に黒い虫や糸くずのようなものが見える!  
ということはありませんか?  
その症状、「飛蚊症」の疑問についてご説明します!

## 飛蚊症とは?

黒い虫や糸くずのようなものが見える状態のことを言います。  
眼を動かすと一緒に移動している  
ように感じられ、瞬きや目をこすつても消えません。  
暗いところでは気にならなくなります。

病的なものか  
生理的なものかを知る  
ためにはどうしたらいいの?

眼科を受診し、眼底検査を受け眼の奥を詳しく診てもらいましょう。

## 気付けることは?

飛蚊症の原因が、病的な場合は治療が必要ですが、「生理的な飛蚊症」だった場合には、以下の点に気を付けて必要に応じて眼底検査を受けてください。

- 飛んでいるものの数が増えたとき
- 飛んでいるものの大きさが大きくなったとき

## 飛蚊症の原因は?

眼球の中の大部分は、硝子体と呼ばれるゼリー状の透明な物質で満たされています。  
この硝子体の一部が濁ったり、加齢などによって眼球内から剥がれたことで起こります。この場合は病的なものではなく生理的なものとなります。

## 病的な飛蚊症には どんなものがあるの?

網膜剥離、網膜裂孔、硝子体出血、ぶどう膜炎などがあります。  
投薬治療やレーザー治療など専門的な治療が必要になります。

## 飛蚊症がある場合 どんな検査をするの?

### 〈眼底検査〉

目薬(散瞳薬)をして瞳孔を開きます。硝子体や眼の奥の網膜に異常がないか検査します。

### 〈視力検査〉

どれくらいの視力があるか測定します。

### 〈眼圧検査〉

眼球の硬さを測定します

飛蚊症を自覚したら、  
まずは  
眼科を受診して  
眼底検査を  
受けましょう!



# 春キャベツと 豚肉のゴマ味噌炒め

管理栄養士おすすめメニュー

## 1人分

|         |         |
|---------|---------|
| ● エネルギー | 219kcal |
| ● たんぱく質 | 13.2g   |
| ● 脂質    | 11.6g   |
| ● 食塩    | 1.6g    |

## 材料

|         |       |           |    |
|---------|-------|-----------|----|
| ● 春キャベツ | 100g  | ● みりん     | 6g |
| ● 人参    | 10g   | ● 砂糖      | 2g |
| ● 豚肉    | 60g   | ● ソース     | 5g |
| ● 塩     | 0.5g  | ● 味噌      | 8g |
| ● こしょう  | 0.05g | ● すりごま(白) | 4g |
| ● 酒     | 6g    | ● ゴマ油     | 適量 |

## 作り方

- ① 春キャベツは角切りにして、人参は短冊切りにする。
- ② 豚肉は食べやすい大きさに切り、塩・こしょうをする。
- ③ 調味料を混ぜ合わせておく。
- ④ フライパンにゴマ油を入れて豚肉を炒める。
- ⑤ 豚肉にある程度火が通ったら、キャベツと人参を加えてさらに炒める。
- ⑥ ③で準備した調味料を加えて炒め合わせる。



春キャベツはビタミンCやカロテンが多く含まれています。特にビタミンCに関しては、年間を通して販売されているキャベツよりも約1.3倍の量が含まれています。ビタミンCは風邪の予防や疲労回復、肌荒れなどに効果があります。

# 医療公開講座のお知らせ

当院では毎月「医療公開講座」を開催しています。

病気、お薬、食事、運動、医療費など、様々な内容で少しでもみなさまのお役に立ちたいという  
思いから情報発信しています。

今後も下記の日程・内容で講座を行いますので、みなさまふるってご参加ください。

| 日付                         | 内 容                         | 講 師          | 場 所       |
|----------------------------|-----------------------------|--------------|-----------|
| 平成31年 4月18日(木) 15:00~16:00 | 「アトピー性皮膚炎」<br>～症状・治療方法について～ | 皮膚科<br>中村 哲史 | 春日部中央総合病院 |



参加の申し込みは、総合受付または地域医療連携室へお声掛けいただくか  
こちらの番号へお問い合わせ下さい。

**春日部中央総合病院 地域医療連携室**  
TEL 048-736-1221 (代表)



IMS グループからのお知らせ

## ■ 医療・介護のことでお悩みはありませんか? ■

IMS総合サービスセンター(IMS GSセンター)は、病院選びに困った際にご利用いただける病院相談窓口です。  
皆さまからの医療・介護のご相談をお受けいたしますので、  
お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問い合わせください。

〈受付時間〉 平日／8:30～17:30 土曜日／8:30～12:30  
(日祝・年末年始休み)

**FREE 0800-800-1632**

メールでも病院受診相談をお受けしています。右メールフォームをご利用ください。



IMS総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をWEBサイトでご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング 9F

IMS グループ 医療法人財団 明理会  
**春日部中央総合病院**

〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5丁目9番4号

**TEL:048-736-1221 FAX:048-738-1559**

<http://www.kasukabechuo.com>

## 編集後記

寒い冬が続いていましたが、吹き去る風の中に暖かな春の息吹を感じられる季節となりました。新年度を迎えて慌ただしい時期ではありますが、お出かけするには最適な気候です。皆様、春を探しに出かけてみてはいかがでしょうか。

認定施設

厚生労働省臨床研修指定病院／日本医療機能評価機構認定病院／日本内科学会認定医制度教育関連施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本清血管インターベンション治療学会研修施設／日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設／腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／胸部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／日本外科学会外科専門医制度修練施設／日本消化器外科学会専門医制度修練施設／日本整形外科学会専門医研修施設／日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設／日本泌尿器科学会認定専門医教育施設／日本透析医学会専門医制度教育関連施設／日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設／日本麻醉科学会麻醉科認定病院／看護大学・専門学校実習病院